

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文脈	症例	適正 使用 措置	感染症(P)	出典	概要
												炭疽	ProMED-mail20070219.0625	2007年2月4日の週に、ウシ2頭が炭疽で死亡した。この2頭は芽胞を含んだ飼料を食べて発症した。2006年夏にはSaskatchewanにおいて家畜約800頭が死亡し、これらの中で最悪の炭疽のアウトブレイクの記録であった。これらは放牧中に土中の炭疽芽胞を食べた後に死亡した。炭疽芽胞は何年も土中に残り、今年の夏も死亡例の増加が懸念される。
												炭疽	ProMED-mail20070401.1111	カナダ Saskatchewanにおいて4施設で炭疽が確認された。全症例は炭疽の胞子で汚染された飼料に関連していたと考えられている。CFIAは今後3年間、流行地区で放牧される家畜に対してワクチン接種を推奨している。
												炭疽	ProMED-mail20070423.1327	オーストラリア Goulburn Valleyにおいて2007年1月および2月に炭疽の発生が封じ込められた。6週間で10農場で37頭のウシが死亡したこと、2007年2月23日以降、症例は発生していない。
												炭疽	ProMED-mail20070426.1363	米国 South Dakota州 Brown郡で約50頭のウシの群れにおいて炭疽が2007年4月24日に確認された。2年前に同じ群れでアウトブレイクが発生していた。土中に炭疽胞子が生存しており、干ばつ、洪水、強風により放牧中の家畜が胞子に暴露する可能性がある。
												BSE	ProMED-mail20061227.3621	カナダ Albertaで2006年9月9日に肉用牝牛が短期間の神経学的疾患の後、死亡したが、8月24日にBSEと確定診断された。カナダにおける8例目のBSE牛である。このウシは8から10歳と推定された。出生に関する追跡調査が行われたが、特定することはできなかった。
												BSE	ProMED-mail20070208.0499	2007年2月7日、Canadian Food Inspection Agency (CFIA)はAlbertaの成牛はBSEであると確定した。死体は管理され、どの部位もトシ料または動物の餌システムに入っていない。予備的情報ではこのウシは生後1年目に少量の感染物質に暴露したと考えられる。国際的ガイドラインに従った疫学的調査が開始された。
												BSE	ProMED-mail20070308.0813	2007年3月6日、CFIA (Canadian Food Inspection Agency)はカナダにおける最近のBSE牛の総合的な調査はまもなく完了すると発表した。そのウシは2000年に生まれ、死亡時は少なくとも6.5歳であった。